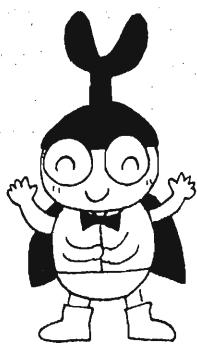
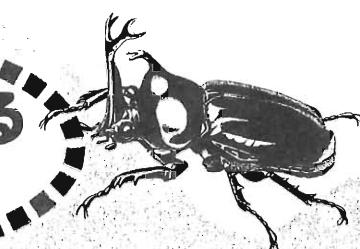


やあ、もうすぐ夏休みだね。家の中にはかりいないで、
たまにはボクたちのところへ遊びに来いでよ。
え、ボクたちの住んでるところ？もちろん、豊島区さ。
おやおや、何だか信じていないみたいだね。では、ボクたちが
どこにいるのか、ちょっとご案内しよう！



今が旬です ～豊島の自然～

からはじまる ボクたちの朝



ここは白石の森。

一歩入れば、森の中はとても静か。暑い日は、木陰には涼しい風が吹いていて、とても気持ちがいいよ。

さあ、森の中を歩いてみよう。

足元に落ち葉や木のチップが敷き詰めてあるのが分かるかな？ おつと、汚いなんて思わないでね。森の落ち葉って、とっても大切なものなんだ。

例えば、ボクたちカブトムシは、冬の間ずっと土の中ですごしている。ここで、栄養を取つ

たり、寒さを敵から守ってもらっているんだ。いわばお母さんみたいなものだね。

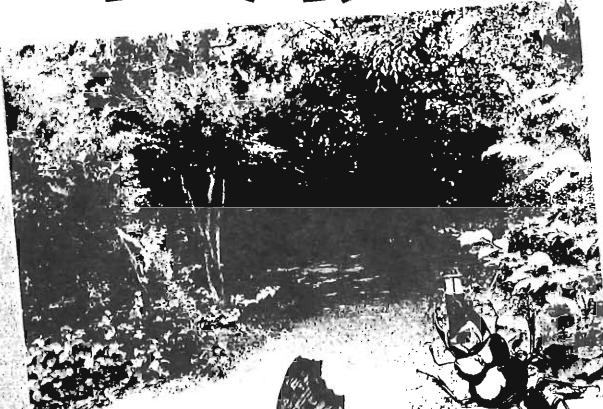
この土が、落ち葉からできているんだ。落ち葉をミミスのような小さな生き物が食べて分解し、さらに、もっと小さなバクテリアが分解して栄養をつぶりの土にするのさ。

ほら、見てごらん、森の中の落ち葉から新しい芽が出ているよ。木の栄養源にもなっているんだね。

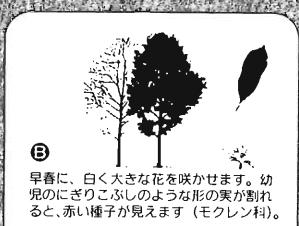
ところで、ボクがいるところ

はどこだと思う？

森の広場のそばに大きなクヌギの木があるだろう？ そうそう、回りにキタテハが飛んでいる木。ボクはその幹から出る甘い樹液が大好き。ここで、待っていてくれれば、もしかしたら会えるかもしれないよ。



A タンスやゲタの材料で、軽く、柔らかく、火に強いなどの特徴があります。5月ごろ紫の花を咲かせます（ゴマノハグサ科）。



B 早春に、白く大きな花を咲かせます。幼児のにぎりこぶしのような形の実が割れると、赤い種子が見えます（モクレン科）。



C はんてん形の葉をしたこの木は、春に蜜のたくさん入った、チューリップにそっくりな形の花を開きます（モクレン科）。



D ヒマラヤ周辺原産の木で、広い庭や公園に植えると、枝を大きく広げて、美しい樹姿となります（マツ科）。

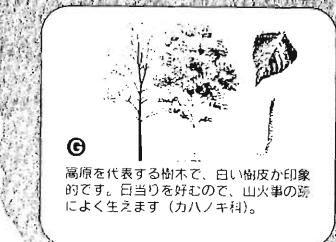


E 普通の土地でも育ちますが、水湿地に植えると、杭のような呼吸根を地上に林立させます。スマスギともいいます（スギ科）。

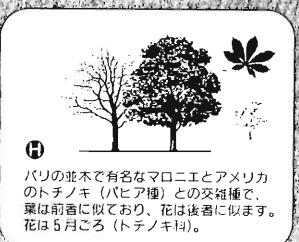
挑戦！ 池袋の森クイズ

豊島区にはもう一つ森がある。ここで池袋の森には、世界中の珍しい木がたくさんあるんだ。そこで、問題。木と葉の形、それにヒントをよく見て、木の名前を答えてね。さあ、何本分かるかな？

①ラクウショウ ②キリ ③ユリノキ ④コウヨウザン ⑤メタセコイア ⑥コブシ ⑦オベニバナトチノキ ⑧シラカバ ⑨ヒマラヤシダ ⑩チウオクルミ



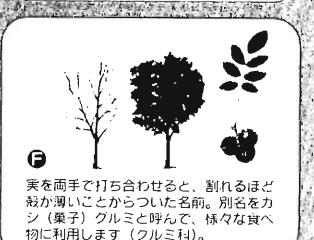
G 高原を代表する樹木で、白い樹皮が印象的です。日当りを好みの、山火事の跡によく生えます（カハノキ科）。



H パリの並木で有名なマロニエとアメリカのトネリコ（ヒビア種）との交雑種で、葉は前者に似ており、花は後者に似ます。花は5月ごろ（トネリコ）。



I スギの仲間ですが、葉の幅が広いことからつけた名前です。中国や台湾原産で、成長が早く風に折れやすいのですが、すぐにもとの木の形になります（スギ科）。



M 実を両手で打ち合わせると、割れるほど軽いことからつけた名前。別名をカシ（葉子）クリミと呼んで、様々な食べ物に利用します（クルミ科）。



O 化石として発見された木か、後に中國四川省の奥地で生きた木として発見され、世界の話題となりました（スキ目）。

(正解は6面をみてね！)

おやおや、まだ不思議そうな顔をしているね。
じゃあ、ちょっと彼の話を聞いてもらおうかな。

ワタクシ、セミです。
毎年かんきょう観察員の人たちが、ワタクシたちセミの初鳴きを、調べてくれています。この地図をご覧ください。区内のあちこちで、いろんな種類のセミが鳴いているのがわかるでしょう！

今年も、せいいっぱい鳴きますので、みんなも、探してくださいね。



ニイニイゼミ
アブラゼミ
ミンミンゼミ

*平成9年にはヒグラシやツツツボウシの声も聞こえました。今年は、どうなるかな？

今年も鳴きます

平成10年セミの初鳴き日

(図中は月/日)

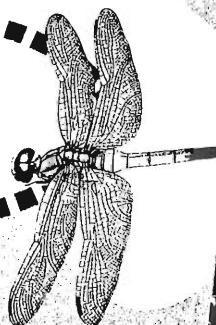


かんきょう観察員の人たちは、季節ごとにボクたち生き物のことを見察したり、大気汚染や酸性雨を調べたりして、身の回りの環境を考えてくれているんだよ。



森木

流れる水は生きている



ところで、ピオトープという言葉を知っているかい？

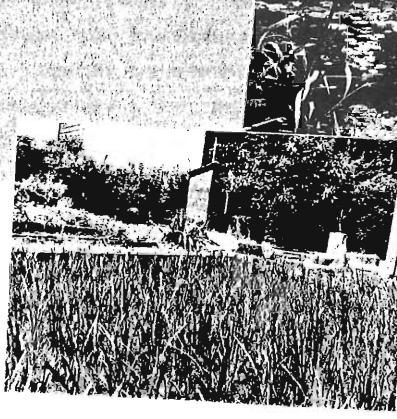
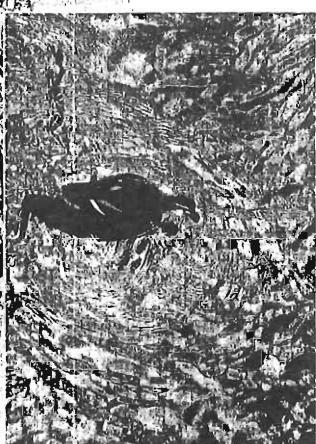
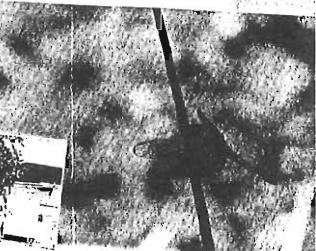
豊島区みたいに緑が少なくなったところで、ボクたち生き物が暮らしやすいように工夫してある場所のことだよ。

豊島区の二つの森には、トンボ池という水場がある。ここは、人々、自然を呼び戻せる場所にしようと、みんなが考えてでき

たところなんだ。

ポイントは、ここの水場に流れとたまり場のあること。

今では、池の中からメダカがひょうこり顔を出したり、シオカラトンボやギンヤンマが飛んでいたりしているよ。



もう分かったかな？
ボクたちの住んでいるのは、緑と水があるところ。

ほら、周りを見てごらん。

神田川には、カモが、

まちの中の小さな田んぼにはメダカが、池袋の森のトンボ池にはヤゴのぬけがらが、キミのすぐそばで待っている。

さあ、ボクたちを探しにおいでよ！



●区内の自然観察のお伴に

「豊島区の昆虫」、「豊島区の鳥」

かんきょう観察員が調べた区内に見られる生き物をまとめたパンフレットです。

「区民が調べた豊島区のかんきょう

～身近な環境を見直すために～」

かんきょう観察員の環境調査の活動を

毎年まとめています。

「フィールドノート 水生昆虫その大変身」

(東京都環境教育保全局)

水への昆虫のデータと観察ノートがセットになっています。

*いずれも環境管理係で希望者に配布。

●ご紹介した森

池袋の森 池袋1-7-10

白の森 白目4-11-21

*ご案内のパンフレットがあります。

◇詳細…

かんきょう観察員や環境に関するこ

と／環境管理係☎3981-2690

区内の公園や緑に関すること／

工務係☎3981-2952

緑化推進係☎3981-4940

